

令和7年
3月

消防だより

Fire department news

令和6年度木更津市消防署スローガン

～ 市民の想いに寄り添い 市民の笑顔を守ります ～

編集・発行/木更津市消防署 本署警防隊

担当 金子・岩崎・平野

〒292-0834 木更津市潮見2-1

TEL 0438-22-0119

FAX 0438-22-0151

e-mail sho-shoubo@city.kisarazu.lg.jp

令和7年木更津市消防出初式を開催！ ～市民とともに防災意識を高める一日～

新春恒例行事である「消防出初式」を令和7年1月19日(日)に開催しました。旧木更津市役所敷地内で行われた式典、消防演技及び消防広場に多くのご来場をいただき誠にありがとうございました。

消防広場では、輪投げ、ボーリング、塗り絵、BINGO大会コーナーの開設や15m級はしご車の搭乗体験、お子様を対象とした放水・防火服着装体験など、楽しみながら防災意識の向上と消防業務への理解を深めていただくイベントに加え、地域の子供たちの健全育成を願って設立された団体「ジェスパル・イワネ」の屋台、海上自衛隊航空補給処消防車に参加していただき大いに盛り上がりしました。

式典後に行なった消防演技では、消防職員による一糸乱れぬ「体力向上体操」や「新型車両」のお披露目、また「救助隊員によるはしご車からの降下訓練」、「きさポン」の飛び入り参加などのエンターテインメント性を取り入れた演技を披露しました。

フィナーレの一斉放水では、消防職員、消防団員の連携による力強い放水と川崎市防災ヘリコプターが多くの来場者を魅了し、大きな拍手と歓声が上がりました。

次回の令和8年木更津市消防出初式は令和8年1月18日(日)に開催予定です。



木更津市公式ホームページ
令和7年木更津市消防出初式



@KISARAZU_FD_119
木更津市消防本部Instagram

土砂災害対応訓練を実施！



木更津市公式ホームページ
土砂災害警戒区域等の指定



木更津市公式ホームページ
木更津市WEB版防災ハザードマップ

近年、気候変動による異常気象や地震などにより土砂災害が各地で発生しています。木更津市消防署では、土砂災害に関する基礎知識の共有をはじめ、技術の向上と迅速な救助活動を目指し、「土砂災害対応訓練」を実施しました。引き続き効果的な救助活動ができるように努めてまいります。地域住民の皆様にも日頃から土砂災害のリスクを理解いただき、ハザードマップの活用や避難経路、避難場所の確認をお願いいたします。

火遊びによる火災を防止しましょう

木更津市内において、こどもの火遊びによる火災が相次いで発生しています。いずれの火災でも死傷者は出ていませんが、過去には、自宅が全焼するだけでなく、逃げ遅れた家族が亡くなってしまう悲惨な火災も発生しています。大切な命を守るため、ご家庭内や地域での防火教育を徹底し、火遊びによる火災を防止しましょう。

こどもの火遊びによる火災防止のポイント

まずは、命や財産を焼き尽くしてしまう火の怖さを教え込むのが大切です。次に、火の正しい扱い方や消し方を教えてあげてください。こども自身が火遊びの危険性を理解できれば、火遊びによる火災を防止することができます。

また、次のポイントを参考にして火災予防に努めてください。

- 1 こどもだけを残して外出しない
- 2 こどもの前ではライターやマッチの使用を控える
- 3 ライターやマッチはしっかり管理し、こどもの手の届くところに置かない
- 4 こどもだけで火を取り扱わせない
- 5 火遊びをしていたら、危険性が理解できるように指導する

衣服に火がついたときの対処方法

どんなに注意をしても、悪いことが重なると、衣服に火がついてしまうことがあります。衣服に火がつくと、走り回ったり、衣服を脱ごうとしたりしますが、炎は瞬く間に大きくなって、致命傷を負うことになります。木更津市内でも、衣服に火がつくことで、何人の方が命を落としています。衣服に火がついたときは、「ストップ、ドロップ&ロール」で火を消してください。命を守る術として、こどもと一緒に広い場所で練習をしてみましょう。

ストップ、ドロップ&ロール

① 走らず止まる



走ると風を受け、火の勢が強くなります。慌てずにその場に立ち止まってください。

② その場に倒れる



地面に倒れこみ、燃えているところを地面に押し付けるようにくっつけます。

③ ゴロゴロ転がる



地面に倒れたまま左右に転がります。両手で顔を覆い、顔への火傷を防ぎましょう。

映像通報システム(Live119)について

木更津市消防本部が所属する、ちば消防共同指令センターにおいて令和6年5月1日8時30分から映像通報システム(Live119)の運用を開始しました。

映像通報システム(Live119)とは、通報者と指令管制員で映像の送受信を行うことで、傷病者の状態や災害現場の状況を把握できるシステムです。

音声による119番通報に加え、映像によるコミュニケーションにより、迅速・的確な消防活動やより効果的な応急手当を行うことで救命率を向上させることが期待できます。

スマートフォンからの通報で指令管制員が必要と判断したときに通報者へ映像送信の協力を依頼します。

なお、映像通報システム(Live119)は事前登録やアプリのダウンロードは不要となりますが、映像送信にかかる通信料は、通報者側の負担となりますのでご了承ください。

※1分当たりのデータ容量は約15MBです。通信料は契約プランにより異なります。

映像通報システム(Live119)で取得した動画は、現場状況の把握を目的として一定期間保存します。

動画内に含まれる個人情報の取扱いは、個人情報の保護に関する法律及び関連法令に基づき適切に管理します。

